

★ 市有財産の現在高（令和7年9月末現在） ★

市の主な資産には、土地、建物、基金などがあります。

基金とは、市が持っている貯金のようなもので、社会情勢の急激な変化などによる大幅な歳入減や不測の財政需要に柔軟に対応するために、また、施設の整備など、多くの費用が必要となる特定の目的のために積み立てているものです。支払いの集中などにより、一時的な資金不足に対応するため、基金から繰り替えて運用することもあります。

基金の中でも、財政調整基金は、決算剰余金が多いときは積み立てて、財源が不足したときには取り崩して運用するといった年度間調整の役割を果たしているほか、災害など突発的な経費にも充てることとしています。

種 別		現在高（面積・金額）	対前年同期比
土	地	198万6469㎡	+4262㎡
建	物	32万848㎡	-955㎡
地	役 権	2665㎡	±0㎡
有 価 証 券		1275万円	±0円
出 資 に よ る 権 利		1億1058万円	±0円
債	権	0円	△73万円
基金（一般会計）	財政調整基金（証券含む）		53億3350万円 +2億57万円
	公共施設整備基金		3億5422万円 +5210万円
	職員退職給与準備基金		2億9569万円 +3548万円
	文化振興基金		6011万円 △93万円
	みどり基金		1031万円 +28万円
	地下水汚染対策基金		167万円 △1万円
	スポーツ振興基金		241万円 △4万円
	住宅新築等資金借入金償還準備基金		178万円 △200万円
	ふるさと基金		5億6965万円 △595万円
	カルチャーパーク基金		313万円 +21万円
	新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金		2億4817万円 △3327万円
	土地開発基金	現金	2億1201万円 ±0円
		土地	1346㎡ ±0㎡